



移住者名	宇佐美 彰規
都道府県	北海道 天売島
移住先	愛知県⇒北海道
移住年	2013年
職業	会社員⇒ゲストハウス経営
家族構成	1名
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

私は旅行が趣味で、日本全国を色々と旅してまわっていました。天売島に出会ったのは今から15年ほど前です。その時に見たウトウという海鳥の帰巢シーンに感動し、毎年この島を訪れることになりました。将来、この島で過ごせたらいいな、とは長年思っていました。なかなかきっかけもなく躊躇していたのですが、ある時、天売島での地域おこし協力隊の募集を見つけ、今がその時だと思い、協力隊に応募し、島に来ることになりました。3年間地域おこし協力隊として活動した後、去年の7月に空き家を改修して古民家ゲストハウスを開業しました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

天売島には何度も来たことはありましたが、それは全て夏の観光シーズンだけであり、良いところしか見ていませんでした。実家の愛知県は、年に数回雪が降る程度の場所で、北海道の冬の厳しさというものが想像以上に大変でした。冬は、日本海の荒波はすごく、フェリーが欠航することも多々あります。医療は、小さな診療所があるだけですが、おかげさまで今のところ大病を患うことなく元気に暮らしています。コンビニもスーパーありませんが、インターネットで物が買える時代ですので、意外と不便は感じていません。

Q. 移住して良かったことは？

住む家と仕事の確保が最重要項目だったのですが、色々なご縁があり、港の近くという立地の良い場所で住居兼ゲストハウスを開業することができました。ゲストハウス以外の仕事として、ツアーガイドやシーカヤックガイドなどの観光業の他、漁業の手伝いやデイサービスの送迎などの仕事もあり、冬も島で暮らしています。自分のペースで過ごせる点や、美味しい魚介類などの食べ物や、季節ごとに移り変わる大自然の風景を間近に感じ、生き生きとした生活を送ることができています。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

いきなり知らない土地に飛び込むのは大変だと思いますので、実際に何度か訪れたり、お試し暮らし体験などを利用して、なにかその土地の好きなところを見つけると良いと思います。人であったり、景色であったり、食べ物であったりと、ここに住んで良かったと思えるものがきっと見つかるはずです。私は地域おこし協力隊を経てゲストハウス開業に至りましたが、協力隊で来た時は、島民の中には、この島に住んでどうするのと、いうように一歩引かれて見られたこともありましたが、自分のやりたいことに向かって頑張っていれば、自然と周りも応援してくれるようになりました。形だけのアピールではなく、信念を持って行動すれば自ずと住みよい場所になると思います。



移住者名	奥野 真人
都道府県	北海道
移住先	静岡県三島市⇒焼尻島
移住年	2014年
職業	地域おこし協力隊⇒ゲストハウス経営
家族構成	独身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

もともとは南の島めぐりが好きで将来は宿をやりたいと思っていました。しかし、島めぐりを続けているうち、沖縄や伊豆・小笠原諸島といった人気の島々が目立つ一方で、名前もあまり知られていないような島々が多数あり、それぞれの島が島おこしを必要としている現状を知りました。私は移住前はウェブライターとして働いており、時にはそういった課題の多い離島取材することもありました。しかし、そういった島には往々にして「島をなんとかしようとしている人」がおり、多くの苦勞を抱えながらもやりがいを持って奮闘している姿がありました。一過性の観光や、数日程度の取材では到底知りえない世界があることに衝撃を受け、「自分も現場で活動してみたい」と思い立った次第です。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

生活していけるかどうか、少子高齢化がより顕著な島だけに、将来を考えると不安しかなかったです。また北海道の離島だけに、冬をどう暮らすかも心配がありました。また人口200人弱という狭いコミュニティだったので、人間関係（ご近所付き合い）がうまくいくかどうかも心配でした。実際のところ、これらの不安は移住して4年たった今でも解決しているわけではありません。焼尻島に限らず、小規模離島において常につきまとう問題であり、この不安をいかに受け入れつついかに立ち居振る舞うか、誰においても大変なことだと思います。そういう意味での不安は尽きませんが、それでもなんとかこなっています。

Q. 移住して良かったことは？

挑戦に対する敷居が低いこと。私は現在ゲストハウスの経営、島内ガイド、海藻の採集・販売、ボランティア受け入れ、新聞でのコラム執筆等様々な取り組みを行っていますが、いずれも移住前は想像もしなかった取り組みです。もしこれが都会ぐらしであれば、おそろくなかなか経験できないことばかりではないかと思っています。島に移住し、「焼尻島」の名を借りることで、様々な貴重な経験をさせて頂きました。また、宿を経営しているからか、いろいろな人との出会いがあるためやりがいがあります。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

月並みではありますが、よく考え、よく相談することをお勧めします。上辺だけの良い話だけでなく、想像しうる課題やストレスまでしっかりと受け止める覚悟がなければ後々大変な思いをすることになると思います。しかし、特に人口減少が進みゆく離島においては、移住者を必要としている島も多いです。そして、大変なぶんだけやりがいも大きく、都会ぐらしでは味わえないような刺激的な毎日になるはずです。「やりたいことをやりたい」「楽じゃなくても楽しくありたい」と思える人は島暮らしに向いているかと思います。